

# Shimotsuke English Journal (SEJ)

Vol. 88



令和5年11月2日

今月のキーワード

全国学力・学習状況調査

「話すこと」の指導のポイント

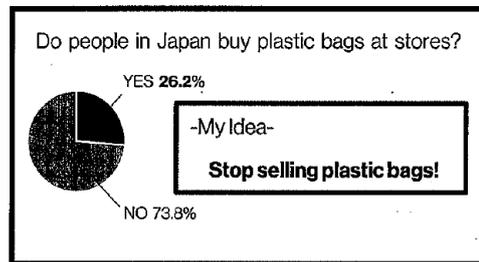
令和5年度全国学力・学習状況調査の中学校英語では、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」に加えて、タブレット端末を用いて「話すこと」の調査も実施されました。事前の準備も含め、多くの先生方にご協力いただき、ありがとうございました。今回は、「話すこと」調査の結果を踏まえた指導のポイントについて紹介します。今後の指導の参考にしてください。

## 全国学力・学習状況調査（英語「話すこと」）

出題の主旨：社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことができるかどうかをみる。

英語2 説明を聞いて、考えとその理由を話す

英語の授業で、ニュージーランドから来た留学生が環境問題についてのプレゼンテーションをしています。その発表やスライドの内容をもとにして、あなた自身の考えとその理由を英語で伝えましょう。1分間話す内容を考えたあと、30秒で話してください。メモを取ってもかまいません。それでは、プレゼンテーションを聞きましょう。



(スクリプト)

Do you buy plastic bags at the store? Or, do you use eco bags? Look at this picture. There are many plastic bags in the sea. It is a serious problem today. Now, look at this. I was really surprised to see this because over 25 % of people in Japan buy plastic bags at stores. In New Zealand, stores do not sell plastic bags and we take eco bags. Some people may say plastic bags are becoming more eco-friendly, but I recommend stores in Japan should stop selling plastic bags. What do you think?

### ～「話すこと」調査から見えた課題～

調査結果から、次の点に課題が見られることが分かりました。

- 基本的な文法事項などの必要な表現を身に付け、即興で伝え合うこと。
- 自分の考えや気持ちを理由などとともに話すこと。
- 聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたことを話すこと。



言語活動の質をより一層高めることが重要です！

### ★普段の授業を振り返ってみましょう★

- 1 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを明確に設定して言語活動を行っていますか。
- 2 日常的な話題や、社会的な話題を取り上げる等、**題材の工夫**をしていますか。
- 3 **即興で伝え合うやり取り**を授業で行っていますか。
- 4 聞いたり読んだりしたことについて、話したり書いたりするなどの**領域を統合した言語活動**を行っていますか。
- 5 **言語材料と言語活動を効果的に関連付けて適切に指導**していますか。



### Small Talk のポイント

外国語や英語の授業では、「話すこと」の活動として、Small Talk が行われています。Small Talk の目的は、「**既習表現を繰り返し使用できるようにしてその定着を図ること**」、「**対話の続け方を指導すること**」です。

「話題を決める際には・・・」

- ・子どもが**興味・関心**のある話題にすること
- ・子どもが**話を深められる**話題にすること
- ・子どもが**既習表現を使える**話題にすること

子どもも、教師も楽しんで Small Talk を行うことが大切です。ALTとも協力しながら、話題を考えてみてください。

(小学校の例) A:ALT B:HRT or AB:student

A: Where do you want to go ?

B: I want to go to Hokkaido.

You can eat ramen.

A: Good. **Do you like ramen ?** ←①

B: Yes, I do. I like ramen very much.

A: **What ramen do you like ?** ←②

B: I like miso ramen. ...

※ ①のような既習表現、②のような話を深める表現を使うことができます。

ALTとのデモンストレーションや中間の振り返りを活用すると効果的です。

(中学校の例) T:teacher S:student

T: What do you want to do this weekend ?

S: I want to **soccer**. (誤った表現)

T: Oh ! Soccer ! Do you want to **play** soccer ?

Or do you want to **watch** a soccer game ?

S: **Play** soccer.

T: So, you want to ...

S: I want to **play** soccer. (正しい表現)

※教師は、生徒の発言を受け止めながら、正しい表現を使って返答します。正しい表現を全体で共有するなど、繰り返し指導を行うことが大切です。



(参考資料：文部科学省 「話すこと」の指導のポイント ～令和5年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて～、「英語教育」The Road to 小学校英語授業改善)

### ★★★英語検定料助成金の交付について★★★

各学校におかれましては、委任状の取りまとめ等にご協力いただき、ありがとうございます。第2回目の締切は、冬休み前となります。引き続き、児童生徒への周知をよろしくお願いいたします。

○交付対象者 下野市立学校に在籍する全児童生徒のうち英検3級以上を受験する人

○助成金と交付回数 検定料の2分の1を毎年度1回